

プラスチック資源化のための 実験を行います

市では現在、一般廃棄物資源化基本計画策定に向けて廃棄物減量等推進審議会で審議を進めています。この計画は、今後10年間の町田市のごみ処理のあり方や目標値を示すものです。

市内の家庭から出される年間約1万5000トンのプラスチック(容器包装プラスチック)約1万2000トン、商品プラスチック約3000トン)を、いかに資源化するかが大きな課題の一つとなっています。

そこで、皆さんにご協力いただき、「安全にプラスチックを資源化する方法」を探るため、3月から5月まで実験を行うことになりました。これは約1000世帯を対象に、家庭での分別・保管、市による収集・運搬等を実際に行うものです。実験終了後、資源化の方法について審議会と検討していきます。なお、対象地区の皆さんへの説明会を別途実施しています。

環境総務課 797・7112

ごはん・お米とわたし 作文・図画コンクール で 内閣総理大臣賞を受賞

成瀬台中学校1年の後藤聖茂さんが、JA主催の「ごはん・お米とわたし作文・図画コンクール」図画部門で内閣



パンフレットに掲載されている自身の受賞作品「田園風景」を披露する後藤さん

総理大臣賞を受賞しました。このコンクールは全国の小・中学生を対象に毎年行われているもので、食への関心が高まる中、約8万3000点が応募され、後藤さんの図画作品は東京都初めての内閣総理大臣賞受賞でした。

1月20日に市長を表敬訪問した後藤さんは、受賞に驚いたことや絵を描いた時にどのような思いだったかを報告しました。

社会を明るくする運動 作文コンテストで

市内のお2人が 入選しました

「社会を明るくする運動」東京都推進委員会が毎年行っている「作文コンテスト」に今回も市内の小・中学校から多数の応募をいただきました。とうございました。

都内の応募総数5439点の中から、1月5日に次の作品が表彰されました。

【佳作】相澤朋佳さん(本町田東小6年)、「コミュニケーション社会」、宮澤友里さん(鶴川第二中3年)、「たったの一言でできる事」

福祉総務課 724・2537、724・1187

「社会を明るくする運動」は、非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的とした運動です。

災害時協力協定を締結

問 防災安全課 724・2107

市では地震等の大規模な災害発生時に、被災者の救済、応急復旧活動などで様々な団体と協力し、応援要員の派遣や不足物資の調達ができるよう災害時協力協定を締結しています。

今回、市内の事業者団体である「町田電設工業協会」及び「東京土建一般労働組合町田支部」とそれぞれ協定を締

結し、1月27日に調印式が行われました。

市内で電気工事業を営む事業者の団体「町田電設工業協会」とは「災害時における避難場所等の応急対策業務に関する協定」を締結し、災害時に開設された避難所等の照明等の電気設備が損壊した場合に、その応急措置及び障害物の除去を迅速に行なっていた

だきます。

また、建設業に従事する方を組合員とする「東京土建一般労働組合町田支部」と「災害時における応急対策業務に関する協定」を締結し、倒壊建物などからの救助救出活動及び重機類・電動工具等の資機材の提供、避難施設及び市施設の応急修繕、応急仮設住宅の建設などで協力していただきます。



施設案内予約システムの 対象施設が広がります

2月26日(金)から下記の施設が施設案内予約システムの対象となり、インターネット等から施設の「空き状況の確認」ができるようになります。

- 町田市フォトサロン(☎736・8281)
- 国際版画美術館(☎726・2771)
- 健康福祉会館(☎725・5471)
- わくわくプラザ町田(☎723・2180)
- 町田市文化交流センター(☎710・6611)
- 野津田公園多目的広場(☎735・4511)

また、野津田公園多目的広場と健康福祉会館は、インターネット等からの「抽選・予約」も可能になります。

野津田公園多目的広場の「抽選・予約」は2月26日(金)から、健康福祉会館の「抽選・予約」は3月1日(月)からそれぞれ可能となります。ぜひご利用下さい。

※野津田公園多目的広場と健康福祉会館はシステムの導入に伴い施設の抽選・予約・利用のルール等に変更があります。詳細は各施設にご確認下さい。

問 市民協働推進課 ☎723・2892

廃車等の手続きはお早めに

バイク・軽四輪は 4月1日現在で課税

軽自動車税は、4月1日現在、町田市内に定置場(使用しない時に主に駐車する場所)がある軽自動車等を所有している方に課税します。

次の①～⑥に該当する方は、登録、廃車、名義変更等の手続きを3月末までに行ってください。

- ①町田市に転入し、前住所地のナンバープレートがついたバイク等をお持ちの方
- ②町田市外に転出する方でバイク等をお持ちの方
- ③故障等でバイク等を廃棄処分し現在所有していないが、まだ廃車手続きをしていない方
- ④バイク等が盗難にあった方
- ⑤人からバイク等を譲り受け、まだ名義変更をしていない方
- ⑥バイク等を他人に譲り、譲り受け人と連絡不能のため、名義変更されず、課税されている方

これらの手続き先は次のとおりです。

③故障等でバイク等を廃棄処分し現在所有していないが、まだ廃車手続きをしていない方
各窓口とも3月は大変混み合います。手続きはお早めにお願います。

○125cc以下の原付バイクと小型特殊自動車 町田市市民税課 ☎724・2113、忠生市民センター ☎791・2802、鶴川市民センター ☎735・5704 (いずれも日曜開庁日は取り扱いません。)

○125ccを超えるバイク 多摩自動車検査登録事務所 ☎050・5540・2033

○軽三輪・軽四輪自動車 軽自動車検査協会多摩支所 ☎042・525・4360

税申告はお済みですか
125ccを超えるバイク及び軽四輪等は、名義変更や廃車手続きのほかに、税申告の手続きも必要です。例年、名義変更、または廃車手続きが4月1日以前に済んでいるにもかかわらず、税申告の手続きがなされないために、誤って納税通知書が發送される場合が多くあります。

お手数ですが市民税課で課税の有無を確認して下さい。

健康 メモ

(町田市医師会)

赤ちゃんに 会いたい

不妊症とは妊娠を望む男女が、2年以上性生活を行っても妊娠しない状態をいいます。通常90%のカップルが2年以内に妊娠します。不妊症の原因も様々であり、原因不明も少なくありません。最近では男性側が原因であることも多く、約2分の1ともいわれています。また結婚年齢も上昇しており、女性の卵子の数や質の低下も重要な原因となっています。

妊娠に至るには、生まれたときから卵巣にある卵子が成

自然妊娠が可能でもなんらかの理由によってたまたま妊娠しなかったケースや、妊娠を妨げる明確な原因があっても自然妊娠が不可能なケースなどがあります。排卵・受精・着床に至るまでの過程で異常や障がいがあれば妊娠は難しくなります。不妊症はこれらの異常の1つまたは複数が相互に関係するため、「タイミング法」を行いながら、さまざまな検査で異常を見つけ出しそれぞれに合った治療法を行います。

しかし、時に補助的な技術が必要となる例も存在します。このような技術は生殖医療補助技術と言われています。

日本産婦人科学会の報告によると、2006年までに体外受精で生まれた日本国内の出生児数は、累計で17万4456人です。また2006年の体外受精による出生児数は1万9587人で、全出生数に占める割合は1.8%、55人の赤ちゃんのうち1人が体外受精により出生した計算になります。しかしこの治療は歴史が浅く将来的な影響は不明です。従って不妊治療にはどのような治療が必要かなど専門的な知識が必要であり、厚生労働省も生殖医療専門医の資格を認めています。

一度ご相談をおすすめします。